

米国輸出向けてん茶(一番茶、二番茶)の防除体系モデルを作成

■開発のねらい

近年、宇治茶の輸出に向けた取組が活発になっています。しかし、海外の農薬残留基準値(MRL)は日本と異なることが多く、輸出の障害となっています。そこで、ニーズの多い米国向けに、日本と同等の基準値がある農薬や、農薬以外の防除技術を組み合わせ、防除体系モデルを作成しました。

■技術の効果

- ・MRL超過リスクの低い、米国輸出向け防除体系モデルを作成(表1)
- ・農薬代替技術であるハマキコンN(フェロモン剤:松葉型、資材は茶園内均等配置)は3月下旬に設置することにより、傾斜地茶園(横畝)で有効(図1)
- ・自然仕立て茶園で発生するチャエダシヤクについては農薬登録(適用拡大)により対応(図2)

■経営への効果

- ・防除体系モデルによる防除でも、慣行と同等の効果を得られ、品質への影響なし
- ・10a当たりの年間農薬代は、慣行防除体系47,520円に対し、48,919円とほぼ同等

■普及のポイント

農薬の残留は、薬剤の種類、栽培条件、加工条件などによって変化します。また、輸出相手国の残留基準値は予告なく変更されることもあるため、注意してください。なお、フェロモン剤を使用した場合は経費増になることがあります。

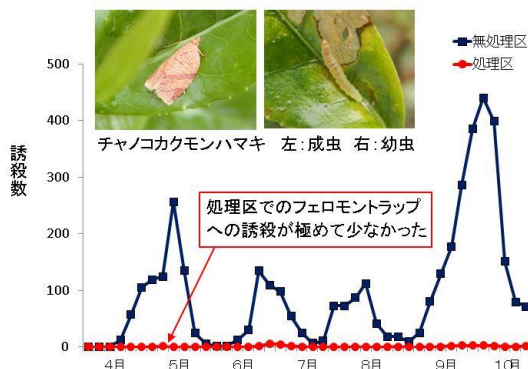


図1 傾斜地茶園におけるフェロモン剤(商品名 ハマキコンN)の効果

表1 米国輸出向けてん茶(一番茶、二番茶)栽培における防除体系モデル

防除時期	対象病害虫	輸出対応防除・資材
2月上旬	クワシロカイガラムシ	ブルートMC
	赤焼病	カッパーシン
4月上旬	コミカンアブラムシ ツマグロアオカシカメ	スタークル顆粒水和剤
	カンザワハダニ	タニゲッターフロアブル
6月中旬	チャノコカクモンハマキ チャハマキ チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ チャノホソガ	ハチハチ乳剤
	カンザワハダニ サビダニ類	ミルベノック乳剤
	炭疽病	フロンスайдSC
8月上旬	クワシロカイガラムシ	アブロードエースフロアブル
	カンザワハダニ	バロックフロアブル
	炭疽病 もち病 新梢枯死症	アミスター20フロアブル
	チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ チャノコカクモンハマキ チャハマキ	スピノエースフロアブル
8月中旬	チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ チャノコカクモンハマキ チャハマキ	スピノエースフロアブル
	チャノコカクモンハマキ チャハマキ チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ チャノホソガ	コテツフロアブル
9月上旬	チャノコカクモンハマキ チャハマキ チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ チャノホソガ	コテツフロアブル
10月下旬	チャノコカクモンハマキ チャハマキ ダニ類	テルスター水和剤
農薬代替技術	ハマキガ類	ハマキコンN

注1:ハマキコンNを使用する場合は3月下旬に設置すると効果が高い(図1)

注2:自然仕立て園で、チャエダシヤクの発生する園では、4月上旬に防除する(図2)



図2 チャエダシヤクに対するコテツフロアブルの効果 *効果が高く農薬登録を取得